



熊本子ども囲碁便り

No.2 2012.2.1

発行：熊本子ども囲碁普及会

託麻囲碁クラブ内 096-382-0174

第一回交流囲碁大会大成功！



各教室の交流を目的として、入門者も参加できるように企画された囲碁大会です。1月22日（日）託麻囲碁クラブにて開催。（市内4教室より33名の参加）5級以下の子供達は午前中で4局対戦し、別室では5級以上五段までの子供達が真剣に対局しました。終局が早かった子は指導碁を受け、充実した時間を過ごすことができました。初めての大会は大成功。課題として入門、初級の子供達の「級」の設定については各教室において、判断が難しく差があるようです。この会を続けることにより調整されていくことでしょう。昇級の方法については検討中です。

次回は4月15日です。



人吉球磨支部子ども囲碁教室

（人吉市西間上町 2569-2 みのだ内科循環器科内 0966-28-3111 理事 金枝雅治）

昨年の“ねんりんピック”、人吉では囲碁が行われました。支部では、これを良い機会と考え子ども囲碁教室を始めることとしました。保育園、幼稚園、小学校に呼びかけを行い、5歳から小学生まで20数名が現在学んでいます。毎週土曜日の午後に2時間、市内のコミュニティセンターで活動しています。支部全体で子どもを育てよう！との考えで、常時10名位の会員が教室に来ています。養田支部長も自ら熱心に子どもたちを指導しています。

最初は9路盤で石とりゲームを行いましたが、現在は13路盤で地を数える勝負に移りました。毎回トーナメント方式の試合を行い、勝負にこだわりを持つようにしています。初級詰め碁にも取り組んでおり、少しずつ碁の面白さを感じてきています。楽しくやることを最大の目的として、支部全体で教室を盛り上げていきます。

一新こども囲碁教室

（熊本市新町 3-4-22 一新こども囲碁教室 ☎096-352-7639 会長 毛利秀士）

一新こども囲碁教室を開いて・・・

平成24年1月6・7日、段山八幡神社で初心者こども囲碁教室を開いた。参加者は小学生延べ23人と保護者とスタッフ。参加した子供たちからアンケートをとった。「初めてなのに囲碁ゲームができて楽しかった。知らない人たちと遊べた。たくさん勝ててうれしかった。またやりたい。」などの内容。

教室の目的「囲碁は難しくなく、楽しいゲームであることを知ってもらう」ことは出来たように思う。けれどこれから、囲碁教室に参加した子供たちにもう一歩前に進んでもらい、今後につなげていくためにはどうしたら良いかが課題となった。スタッフと共にこの課題を乗り越えていきたいと思う。

佐土原子ども囲碁教室

(熊本市佐土原1丁目10-1 TEL096-367-1707 渡辺利男)

“嬉しかったこと・残念だったこと”

熊本学園大学の岩野理事長は40年前の私のゼミの先生です。先日、他の用件で訪ねて行きましたら囲碁の話になりました。岩野先生も学生時代から囲碁をされていたそうです。学長時代に学府高校が全国優勝した際の久保秀夫さん(現プロ棋士)や内田直也さん(現肥後本因坊)は良くご存じでした。その岩野理事長が学園大の選択必修講座に囲碁を取り入れたいと思ってられるそうです。これは江津で「熊本母と子の囲碁教室」をやっておられる江藤さんの働きかけも大きなキッカケになっているようですが、学内報の理事長年頭挨拶に「全く新しいタイプの有意の講座があるのなら是非入学したいと言われるような、ユニークな特設講座が新設されることを願ってやまない」と述べておられます。これが実現すれば本当に素晴らしいことだと嬉しくなりました。

反対にチョット残念だったのは、私の近くにある県立豊学校の小、中学部に囲碁を教えに行きたいのでなんとか放課後でもそういう時間を週一回でもつくってもらえませんか、ということをや昨早秋から学校にお願いしておりましたが、小学生のカリキュラムも目一杯でそういう時間はつくれないうというお断りの電話がありました。

耳の不自由な子ども達が囲碁という素晴らしいゲームと知り合うことができれば、長い人生がどんなに楽しく豊かになったことだろうと思うと、誠に残念に思った次第です。

熊本チビッコ碁友会(託麻囲碁クラブ)



(熊本市保田窪5丁目9-23 TEL096-382-0174 西山育子・田中信夫)

地頭力を鍛える(細谷功著)・・・頭のよさには三種類ある。

- ① 「物知り」は知識が豊富で暗記型勉強である。例、クイズ王。
- ② 「機転が利く」は対人感性が高い。人間関係でもまれている。例、コメディアン、司会者。
- ③ 「地頭がいい」は思考能力が高い。問題解決のトレーニングで鍛えている。例、数学者、プロ棋士。

地頭力固有の要素が①結論から考える②全体から考える③単純に考えるの三つである。この三つは経営者の発想そのものである。なぜ地頭力が重要なのか。人材採用の基準の一つになっている最大の理由は潜在能力が高く、どんな分野に取り組んでも業務知識の習得が速くて、高いパフォーマンスを期待できるからである。

この地頭力を鍛えるための強力なツールとして「フエルミ推定」がある。つかみどころのない物理量を短時間で概算することをフエルミ推定と呼ぶ。ノーベル賞物理学者フエルミの考え方である。フエルミ推定はコンサルティング会社や外資系企業の面接試験で活用されてきた。従って地頭力という言葉は一般的になじみのない言葉かもしれない。

フエルミ推定の例題「日本全国に電柱は何本あるか？」制限時間3分、電卓・PC等使用不可、紙と筆記具のみ。一切の情報の参照不可。細谷氏は小学生でも解答可とのこと。

地頭も生まれつきの素質の部分も少なからずあるが、訓練で鍛える余地は十分にあり、訓練によってある程度までのレベルアップは可能である。日々の絶え間ない訓練と「場数」で間違いなく向上するのである。ダイヤモ

ンドの原石を磨いて輝きを出すようなものである。どんな人も輝くべき原石の要素を有している。地頭力は毎日の習慣のたまものである。考えるという行為は習慣づけをすることそのものが最大の威力となる。(以上引用)

最後の訓練の記述は、私たちの囲碁教室の日常そのものと全く変わりません。囲碁教室から生まれた最高の傑作がプロ棋士です。細谷氏は「地頭のいい人」のトップにプロ棋士を挙げています。私たち囲碁の指導者はフェルミ推定を駆使できませんが、囲碁で子ども達を鍛えるノウハウを持っています。自信と誇りをもって、子ども達の地頭を鍛えましょう。

当教室の自慢～教室の先輩に鶴山淳志七段、畠中星信三段のプロ棋士がいます。(記 田中)

熊本母と子の囲碁教室

(熊本市下江津 3-4-7 TEL096-370-2263 江藤由久子)

《囲碁ネットワーク作り》

すばらしい伝統文化である囲碁を一人でも多くの子どもにという理念(信念)の元、平成30年までに熊本を子ども囲碁普及の先進県にしたいと考えております。その為の活動方針をシリーズでお伝えします。

- ① NPO法人熊本囲碁普及会の設立
- ② 熊本市は校区に一つの囲碁教室、その他の郡市には最低でも一つの子どもの教室を設立する
- ③ 子ども囲碁指導員の育成
- ④ 子ども囲碁イベントの設立

以上を中心とした具体的方法論をシリーズでお伝えします。

<仲間入り>

横浜から引っ越してきた上村真由ちゃん(出水中1年)

4年生の時に「ヒカルの碁」を見て囲碁を始めたそうですが、今や初段の腕前。とても素直で頑張り屋の真由ちゃんです。これからの昇段が楽しみ!!

小学生達の目標のお姉さんとなりました。皆で頑張っって欲しいと思います。

RKKカルチャーセンター子ども囲碁講座

(熊本市長嶺南 3-9-1 RKKカルチャーセンター TEL096-383-3900 囲碁講師 藤森常生)

「子ども囲碁教室 体験教室」のご案内・・・RKKカルチャー祭

RKKカルチャーセンター祭りの一環として、「子ども囲碁教室・体験教室」を開催します。今、囲碁を勉強している子ども達、前に囲碁を覚えた子ども達、これから囲碁を覚えたい子ども達(大人も歓迎)どしどし参加して下さい!

と き: 3月18日(日) 午後1時～4時

ところ: RKKカルチャーセンター3F 第3教室

参加費: 無料

参加者: 同カルチャーセンター子ども囲碁教室受講生及び卒業生

招待・県内子ども囲碁教室の子ども達

入門・初心者(はじめて囲碁を覚えたい子ども達・大人も歓迎)

内 容: 交流試合(段・級位別)

入門教室(囲碁指導員による講義・実戦)

※参加の方は予約をお願いします。(3月10日まで)



藤森常生作

日本棋院玉名支部初心者教室

(玉名市岩崎 154-1 Tel.0968-74-4968 担当 隈部敏)

初心者教室で、棋力に差がある受講生の指導はどのようにしたらよいか、ほかの教室ではどのようにされているのか・・・悩みである。

玉名の教室は・・・毎週火曜日と土曜日 時間 10:00～11:30。したがって、子ども達は土曜日だけになる。受講日を休むと、二週間に一回ということになり棋力はなかなか伸びない。

玉名教室の現状をお知らせして皆さんのご意見をお聞きしたいです。

隈部(土曜担当)の指導の流れは・・・まず、大盤で詰碁や手筋などの問題を4問ほど、布石を1問、その後くじ引きをして19路盤で対局(ハンディ戦)、対局の途中 指導した方が良い時は、ここはこうしたほうがよいのでは・・・と口をはさむ。まだ対局ができない生徒は、もう一人の先生が別メニューで指導する(9路盤や13路盤)。

教室を開設して4年経つが、生徒の棋力がなかなか伸びない。現在の指導環境(指導者2名・週2回 火、土曜)受講している生徒は4名(大人)、子どもは週1回の中でどのような指導をしたらよいのか知りたいです。他の教室での指導方法を機会があったら、見学させて下さい。

【ゆうちょ杯第15回ジュニア本因坊戦九州都城地区大会】のご案内

と き: 2012年3月11日(日) 10:00～

ところ: ぼんちピア・道の駅都城 都城市都北町 5225-1 0986-38-4561

クラス: ①ジュニア本因坊戦代表決定戦(代表2名全国大会出場)

②段位者戦(初段～五段で①に出場しない希望者)

③級位者戦(1級～10級・6位まで入賞)

④入門位戦(11級以下19路盤で打てる人・参加賞)

参加費: 1000円(弁当含む)

参加資格: 九州各県に在住する幼児・小・中学生! 150名(定員になり次第締め切り)

詳細については各教室の先生にお尋ねください。



お知らせ・・・

3月25日(日)「県民囲碁まつり団体対抗戦」主催:熊日・県本部が予定されています。

参加資格などの詳細につきましては、後日お知らせいたします。

編集後記

第一回交流囲碁大会で対戦表の組み合わせを担当。入門の子ども達に容赦なく○(勝ち)×(負け)の印をつけていかなくはありません。文化的な習いごとには勝負のつくことが少ないように思いますが、囲碁はスポーツの分野かなと感じました。負けて悔しい経験をした子どもは、次回に向けて頑張るだろうと確信しました。勝負が終わった後は皆仲良く遊んでいる様子もさすがしいスポーツマンシップです。

「くまもとサプライズ」ロゴ・キャラクターくまモンを載せた「囲碁普及会」のチラシが出来ました。

チラシを使って皆さまの周りに囲碁を勧めていただければ嬉しく思います。(西山)